

いさ^い出発! はつきり^は言います! やりぬ^やきます!



「まちづくり」をさせていただきます
子供たちをとりまく環境について

意見を言わせてください

諫早市議会議員

また じま もり ゆき
北島 守幸

北島守幸後援会だより

第 2 号

発行 北島守幸後援会

諫早市多良見町化屋35番地

TEL: (0957) - 43 - 0270

Mail: m-kitajima@wine.ocn.ne.jp

HP: <http://www.moriyuki.net/>

北島守幸ホームページ <http://www.moriyuki.net/> / モリユキドットネット <http://www.moriyuki.net/> / 北島守幸ホームページ

新年のごあいさつ



いつの間にかオヤジより髪の毛が多くなった1歳児の3男を中心に地球が回っている我が家。

長男、長女は東京の空の下。
「そっちはさむかねーっ」

みなさま あけましておめでとうございます。を言いたくて、ぜひとも1月中に発行したかったのですが、スタッフが1名の為、2月になってしまいました。平成も早19年目。昭和で言えば82年です。干支は「亥」。我が長女と次男の年。長女は、東京のいろんな所で「うた」を歌っています。詩も書いています。去年は初めてふるさとで歌ってくれました。頑張っただけです。

「諫早」暮らしもすでに1年11ヶ月。住所もスラスラ「諫早市」と書けるようになって、名実ともに市民となっています。嬉々として取り組んだ喜中PTA会長の職も3月までとなり、いくらやりたくても子供が卒業するのでこればかりは続けられません。10年前、4年間務めた喜々津東小のPTA会長をやめる時も名残惜しくて、つくづくPTAの好きな男です。やはり、子供の活力、俗に言う所の「気」が充実している空間がとても好きです。自分に子供が来て学校にお世話になるまで1度も「先生」になりたいなどと思ったことはなかったのに、今は1年くらいはやってみたい職業です。

子供たちの声が弾むふるさとにしていきたいものです。今、子供たちを取り巻く諸々のことは、私たち親世代が何とか解決すべきであり解決出来ると思います。子供たちにはただ「学び」と「遊び」に熱中してほしいものです。こんなに物の豊かな時代（それゆえの問題もあるかもしれませんが）大人は知恵を出し汗を流しましょう。今年も一歩ずつ歩んでいきたいと思っています。しばらくは寒い日が続きます、どうかお体にご自愛下さいませ。

平成18年・一般質問・要旨

一般質問とは? 年に4回開催される定例議会で、市議会議員がそれぞれに問題をとりあげ、聞きたいこと、提案したいことなどを、市当局（市長や教育長などの市の幹部）に発言する機会のことです。質問する内容に関しては、それぞれの議員に任されており、議員が特色のある政策を訴える機会です。一般質問によって新たな施策や方向性が見出されていきます。

第1回(3月)定例会

☆中高一貫校設置における考え方について

県立一貫校は長崎市に1つ佐世保市に1つ、それぞれ伝統ある進学校に併設されていますが、県央地域できれば諫早市に1つ設けたい。一貫教育校の持つ利点、懸念材料、あるうかと思いますが、子供たちに良かれと思うシステムの構築もまた模索すべきであると考えます。

☆子供の安全について

子供の安全については、いよいよまったなしの状況であります。老人会を始めとして一定の組織力のある団体へ、ぜひご協力いただきたい。協力依頼状況は。

☆こどもの城建設計画について

☆都市計画区域について

第3回(9月)定例会

☆地域審議会について

地域の生の声がストレートに表現される組織としての地域審議会、地域の声、民の声をうまく反映出来ているのか、現状を伺いたい。審議会の委員の方々は各界各層、それなりの専門知識を持ち、地域の実情がわかった方々になっておられます。極力地域の事業要望等の声を吸い上げてもらいたい。

☆小児救急医療体制の充実について

小児科医師の不足により救急医療体制への影響が顕著な状況であります。24時間安心して診療を受けられる医療体制は子育て支援の重要課題であると思いますが、その現状と取り組みについて伺いたい。

☆遊休市有地の管理等について

☆「少年の主張大会」について

☆栄養教諭の配置と食育について

☆旧高来町による山林会への補助金について

☆監査委員の指摘事項への対応について

第2回(6月)定例会

☆神戸発動機跡地と総合的なまちづくりについて

近々に進んでいくであろう喜々津駅南側の整備とともに、北側にも乗り入れ改札口ができれば実に便利な駅になります。シーサイドを中心に背後地に約5,000人おりますので一躍華やかさも増してくるものと思います。工場閉鎖というピンチを、まちづくりのチャンスに。広大な土地の一部でも先に相談することが叶えばと思います。

☆大学と連携した地域活性化について

「アエルいさはや」のまちづくり工房のように、地域と大学が連携してふるさとづくりが出来れば、これからの地方都市の手本となる。また大学として他に存在感を示せる絶好の機会と思うがどうか。

☆交通安全対策について

☆多良見町木床総合運動公園等整備用地について

☆多良見町木床～化屋間の人道橋建設について

☆小学校での英語学習及び郷土史学習について

第4回(12月)定例会

☆学校教育について

教育現場において「学級崩壊」という衝撃的な言葉を耳にするが、市内の学校において、この実態があるのか。また、調査はなされたのか。今日現在、子供たちの夢が膨らむ明日への糧となる勉学のスムーズな進展が あっているか。

「道徳」について、実際の授業とは、どのようなものが、市内の学校では具体的にどのように展開されているのか。

学校の先生において、クラスをまとめていく上で、どのような認識のもとに何をベストとして子供たちと 相対しておられるのか

☆市営住宅の維持・管理について

☆農漁業者、商工業者の各組織について